

◇ 日 本 史

日 5－1～日 5－11 まで 11 ページあります。

第1問 次のAとBの文章を読み、それぞれの間に答えよ。

A

飛鳥時代の中心地は現在の奈良県明日香村の周辺地域とされている。この辺りには、古墳時代終末期の(ア)高松塚古墳やキトラ古墳などの(イ)小規模な円墳が多く存在する。

蘇我氏の氏寺は(A)といわれ、ここには、日本最古の仏像とされる釈迦如来像が鎮座する。この寺院の伽藍配置は(A)式とよばれ、仏舎利を安置する塔を中心にして周りを金堂が囲むような配置となっている。さらに(ウ)聖徳太子(厩戸王)が創建したといわれる(B)では、(B)式とされる中門・塔・金堂・講堂が一行に並ぶ形式となる。現在の(エ)斑鳩の地に建てられた法隆寺では、伽藍配置が金堂と塔の横並びとなり、ここからは次第に塔が中心から外れていく流れになっていく。

問1 文中の下線部(ア) について述べた文のうち、誤っているものを次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① これらの古墳には、彩色された壁画が残されている。
- ② これらの古墳には、四神とよばれる神々が描かれていた。
- ③ これらの古墳には、インドやペルシャの影響を受けた絵画が残されている。
- ④ これらの古墳には、星宿図とよばれる天文に関する図が天井に残されている。

問2 文中(イ)のような古墳時代後期の群集墳のうち、奈良県に存在している古墳群はどれか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 岩橋千塚古墳群 ② 古市古墳群
- ③ 新沢千塚古墳群 ④ 百舌鳥古墳群

問3 文中の(A)にあてはまる語句は何か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 薬師寺 ② 東大寺
- ③ 興福寺 ④ 飛鳥寺

問4 文中の下線部(ウ)について、三経の注釈書である三経義疏を書いたと言われる。この三経のうち誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 勝鬘經 ② 大日經
③ 維摩經 ④ 法華經

問5 文中の下線部(ウ)について書かれた伝記の一つに『上宮聖徳法王帝説』がある。この書には
 仏教公伝についての記述があり、ある出典とともに、538年公伝説の根拠となっている。その出典と
 は何か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 5

- ①『日本書紀』
②『日本靈異記』
③『往生要集』
④『元興寺縁起』

問6 文中の(B)にあてはまる語句は何か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 6

- ① 四天王寺 ② 延曆寺
③ 教王護国寺 ④ 大官大寺

問 7 文中の下線部(エ)について、法隆寺の近くには、豪華な金銅製杵や鞍金具などが出土した六世紀中頃～後半にかけてつくられた円墳が存在する。この古墳は何というか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

7

- ① 藤ノ木古墳 ② 岡田山一号墳
③ 岩戸山古墳 ④ 壬生車塚古墳

問8 八世紀頃までの東アジアに関する事柄について述べた次の文Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

解答番号 8

- I 筑紫国造磐井が新羅と結び反乱を起こした。
- II 百済の觀勒が倭に曆法や天文地理を伝えた。
- III 卑弥呼が魏の皇帝から「親魏倭王」の称号を授けられた。

- ① $I \rightarrow II \rightarrow III$ ② $I \rightarrow III \rightarrow II$ ③ $II \rightarrow I \rightarrow III$
④ $II \rightarrow III \rightarrow I$ ⑤ $III \rightarrow I \rightarrow II$ ⑥ $III \rightarrow II \rightarrow I$

B

奈良時代の文化は(C)文化とよばれる。(D)・(エ)光明皇后の時代を中心としており、(オ)盛唐文化の影響が強く、鎮護国家の思想が強く反映されている。(D)によって、全国には国分寺・国分尼寺が建立され、都には総国分寺としての (カ)東大寺が建立された。一方で(D)は、740 年に起こった(E)の乱以降、次々と遷都した。副都にしようと計画されていたといわれる山背国の(F)、摂津国の(G)、「大仏造立の詔」を発した近江国の(H)などへ次々と遷都し、最後には平城京に戻った。

問 9 文中の(C)にあてはまる語句は何か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 9

- | | |
|---------|------|
| ① 白鳳 | ② 天平 |
| ③ 弘仁・貞観 | ④ 国風 |

問 10 文中の(D)にあてはまる天皇は誰か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 10

- | | |
|--------|--------|
| ① 崇峻天皇 | ② 天武天皇 |
| ③ 元正天皇 | ④ 聖武天皇 |

問 11 下線部(エ)について、この人物の業績として正しい文を次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 11

- ① 庚寅年籍とよばれる戸籍を作成した。
- ② 養老律令を施行し、注釈書『令集解』を著した。
- ③ 社会事業として平城京に悲田院や施薬院を設けた。
- ④ 仏教信仰に厚く、平城京に唐招提寺を建立した。

問 12 下線部(オ)について、唐が後に衰退へと向かうきっかけとなった反乱は何か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 12

- | | |
|--------|---------|
| ① 黄巾の乱 | ② 赤壁の戦い |
| ③ 靖難の変 | ④ 安史の乱 |

問 13 文中の下線部(カ)に関する文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の正しい組み合わせを下の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 13

- Ⅰ この寺院で大仏開眼供養がおこなわれた時の天皇は、孝謙天皇であった。
Ⅱ この寺院には、奈良時代からの建造物である正倉院宝庫が残されている。

- | | | |
|---|-----|-----|
| ① | Ⅰ－正 | Ⅱ－正 |
| ② | Ⅰ－正 | Ⅱ－誤 |
| ③ | Ⅰ－誤 | Ⅱ－正 |
| ④ | Ⅰ－誤 | Ⅱ－誤 |

問 14 奈良時代の文化の作品として正しいものを次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 14

①



②



③



④



問 15 文中の(E)にあてはまる人物は誰か。正しいものを次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

15

- | | |
|--------|--------|
| ① 藤原緒嗣 | ② 藤原広嗣 |
| ③ 藤原百川 | ④ 藤原種継 |

問 16 文中の(F), (G), (H)にあてはまる語句として、正しいものを次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

16

- | | | |
|----------------|-------------|--------------|
| ① (F) : 紫香楽宮 | (G) : 難波宮 | (H) : 恭仁京 |
| ② (F) : 紫香楽宮 | (G) : 恭仁京 | (H) : 長岡京 |
| ③ (F) : 恭仁京 | (G) : 難波宮 | (H) : 紫香楽宮 |
| ④ (F) : 恭仁京 | (G) : 長岡京 | (H) : 紫香楽宮 |

第2問 次のAとBの文章を読んで、それぞれの問に答えよ。

A

鎌倉幕府では、源頼朝のあとに源頼家が将軍となり、さらに(ア)源実朝がその跡を継いだ、
(A)に暗殺されたため、源氏将軍は三代で途絶えた。実朝の死後、執権の(イ)北条義時
は皇族を将軍にまねく交渉をしたが、(ウ)上皇が拒否して交渉は不調に終わった。そこで幕
府は、頼朝の遠縁にあたる摂関家出身の(B)を後継者にむかえた。(B)は 1219
年に京都から鎌倉へ下向した。1226年には将軍となり、成長するに従って北条氏と対立す
るようになったため、1244年に子の(C)に将軍職を譲らされた。この後、(B)
は幕府へ敵対したとして、1246年に京都に送り還された。これを(D)とよぶ。一方、
5代将軍となった(C)も、北条時頼が執権となったとき、京都から皇族将軍をむかえ
ることになったことで将軍職を追われた。以後、鎌倉幕府が(E)年に滅びるまで、四
代にわたって皇族が将軍についた。

問1 文中の下線部(ア)について、彼は歌人としても著名である。彼の作品はどれか。次の①～④
のうちから一つ選べ。

解答番号 17

- | | |
|----------|-----------|
| ①『金槐和歌集』 | ②『和漢朗詠集』 |
| ③『金葉和歌集』 | ④『新撰菟玖波集』 |

問2 文中の(A)にあてはまる人物は誰か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 18

- | | |
|------|-------|
| ① 一幡 | ② 俊寛 |
| ③ 公暁 | ④ 以仁王 |

問3 文中の下線部(イ)の人物に関する文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の正しい組み合わせを下
の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 19

- Ⅰ 侍所の別当であった和田義盛を和田合戦で滅ぼした。
Ⅱ 問注所の執事であった三浦泰村一族を宝治合戦で滅ぼした。

- | | | |
|---|-----|------|
| ① | I－正 | II－正 |
| ② | I－正 | II－誤 |
| ③ | I－誤 | II－正 |
| ④ | I－誤 | II－誤 |

問4 文中の下線部(ウ)について、この上皇は誰か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 20

- | | |
|---------|---------|
| ① 後白河上皇 | ② 鳥羽上皇 |
| ③ 後鳥羽上皇 | ④ 後嵯峨上皇 |

問5 文中の(B)にあてはまる人物は誰か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 21

- | | |
|--------|--------|
| ① 藤原頼経 | ② 藤原頼長 |
| ③ 藤原隆家 | ④ 藤原頼通 |

問6 文中の(C)にあてはまる人物は誰か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 22

- | | |
|--------|--------|
| ① 藤原実資 | ② 藤原忠通 |
| ③ 藤原信頼 | ④ 藤原頼嗣 |

問7 文中の(D)にあてはまる語句は何か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 23

- | | |
|--------|---------|
| ① 霜月騒動 | ② 村方騒動 |
| ③ 宮騒動 | ④ 観応の擾乱 |

問8 文中の(E)にあてはまる数字は西暦何年か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 24

- | | |
|--------|--------|
| ① 1331 | ② 1333 |
| ③ 1334 | ④ 1338 |

室町幕府では、3代将軍となった足利義満のころになって安定期に入る。その間、足利義満も有力な守護をおさえるため数々の事件を起こしている。たとえば、美濃をはじめ尾張・伊勢の守護を兼ねる（ F ）氏を討伐し、一族で西国の守護を 11 か国兼ね、六分の一衆と称された山名氏の内紛に乘じ、山名氏清を滅ぼした（ G ）を起こしている。さらに、1399 年には、周防・長門・和泉をはじめとする 6 か国の守護を兼ねた（ H ）が(エ)鎌倉公方であった足利満兼らと呼応して和泉の堺で反乱を起こしたが義満の攻撃により敗死した。

解答番号 25

- 解答番号 26

- 解答番号 27

- 解答番号 28

- 目 5-8

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| ① I → II → III | ② I → III → II | ③ II → I → III |
| ④ II → III → I | ⑤ III → I → II | ⑥ III → II → I |

問 13 室町時代の文化に関する文 I・II について、その正誤の正しい組み合わせを下の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

29

- I 二条良基は連歌に関する規則書である『応安新式』を制定し、『犬筑波集』を撰した。
 II 一条兼良は古今伝授を整え、俳諧連歌をつくり出し『新撰菟玖波集』を編集した。

- | | |
|---------|--------|
| ① I ー 正 | II ー 正 |
| ② I ー 正 | II ー 誤 |
| ③ I ー 誤 | II ー 正 |
| ④ I ー 誤 | II ー 誤 |

第 3 問 次の史料を読んで、それぞれの問に答えよ。史料は一部、省略したり、書き改めたりしたところもある。

(ア)徳川氏の制は諸侯及び人民の反乱を防ぐに於て最も緻密なる所あり、(イ)故に二百五十年の久しき一諸侯の叛くものあるなし。然れども(a)海内^{かいだい}連合して外敵に向ふの時に至りては、封建制度の区画全く無用のものとなれり。・・・(ウ)外船の突入するや、日本人民の恐怖せしこと実に非常なりき。故に封建の分子は此時早く既に破滅し、彼の族を重んずるの習気全く社会を去れり。諸侯の内部に於ては、(エ)皆改革を行ひ、皆日本国を思ふの人をして藩政を司らしめたり。・・・

注(a)・・・国内

出典：(オ)『日本開化小史』

問 1 史料中の下線部(ア)に関して述べた文のうち、誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

30

- ① 大名の居城を一つに限り、武家諸法度を制定して大名を厳しく統制した。
- ② 大名は石高に応じて一定数の兵馬を常備し、戦時には將軍の命令で出陣した。
- ③ 大名は平時には江戸城などの修築や河川の工事などの伝馬役を負担した。
- ④ 三代將軍の時に武家諸法度(寛永令)を出し、大名に参勤交代を義務づけた。

問 2 史料中の下線部(イ)に関して、1637 年に九州で起こった大きな反乱以降は、江戸幕府は大きな戦乱を経験せずに幕末を迎えた。この大きな反乱とは何か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

31

- ① 島原の乱
- ② 生田万の乱
- ③ 由比正雪の乱(慶安の変)
- ④ 大塩の乱

問 3 史料中の下線部(ウ)に関して、1837 年に来航したアメリカ船を幕府は追い払った。この船は何というか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

32

- ① フェートン号
- ② サン＝フェリペ号
- ③ モリソン号
- ④ サスケハナ号

問4 史料中の下線部(エ)に関して、江戸時代後期の藩政の改革に成功した雄藩について、薩摩藩と長州藩の財政改革に成功した人物の組み合わせとして正しいものはどれか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 33

- ① 薩摩:村田清風 - 長州:調所広郷 ② 薩摩:調所広郷 - 長州:村田清風
③ 薩摩:鍋島直正 - 長州:調所広郷 ④ 薩摩:村田清風 - 長州:鍋島直正

問5 史料中の下線部(オ)について、この出典の著者は誰か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 34

- ① 東海散士 ② 久米邦武
③ 和辻哲郎 ④ 田口卯吉

問6 明治時代の文化に関して述べた文のうち最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 35

- ① 明治時代中期には、歌舞伎の名優たちが活躍する「団菊左時代」を現出した。
② 壮士芝居は、日清戦争前後から人気のある通俗小説の劇化を加えて新劇と呼ばれた。
③ 美術界では、浅井忠らによる日本初の西洋美術団体である白馬会が結成された。
④ ロマン主義文学がさかんとなり、北村透谷らの雑誌『日本人』がその拠点となった。

問7 明治時代の各内閣の時期に起こった事柄について述べた文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

解答番号 36

- Ⅰ 第二次伊藤博文内閣のとき、甲午農民戦争をきっかけとした日清戦争が始まった。
Ⅱ 第二次桂太郎内閣のとき、社会主義者・無政府主義者を大弾圧した大逆事件が起きた。
Ⅲ 第一次松方正義内閣のとき、ロシア皇太子が切りつけられる大津事件が起こった。

- ① Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ ② Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ ③ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
④ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ ⑤ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ ⑥ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ